

梅毒発生届

都道府県知事（保健所設置市・特別区長） 殿

感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第 1 項（同条第 6 項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 西暦 年 月 日

医師の氏名（署名または記名押印）
従事する病院・診療所の名称
上記病院・診療所の所在地
電話番号

1. 診断（検案）した者（死体）の種類	患者（確定） ・ 無症状病原体保有者 ・ 感染症死亡者の死体
2. 性別	男 ・ 女〔妊娠なし・あり・不明〕
3. 診断時の年齢（0 歳は月齢）	（ ） 歳（ ） か月

初診 年月日	西暦 年 月 日
診断（検案※） 年月日	西暦 年 月 日
感染したと推定される 年月日	西暦 年 月 日 この欄不要？
※発病年月日（※）	西暦 年 月 日
※死亡年月日（※）	西暦 年 月 日

（※）欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。（※）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。

4. 病型	1）早期顕症梅毒（ア、Ⅰ期 イ、Ⅱ期） 2）晩期顕症梅毒 3）先天梅毒 4）無症候（無症状病原体保有者）
5. 症状	・初期硬結 ・硬性下疳 ・鼠径部リンパ節腫脹（無痛性） ・梅毒性バラ疹 ・丘疹性梅毒疹 ・扁平コンジローマ ・ゴム腫 ・心血管症状 ・眼症状 ・骨軟骨炎 ・実質性角膜炎 ・感音性難聴 ・Hutchinson 歯 ・その他（ ） ・なし
6. 診断方法	・パーカーインク法による発疹からの病原体の検出 ・次の 1、2 の両方の抗体検査による血清抗体の検出 1. カルジオリピンを抗原とする検査（無症候梅毒の時には抗体価を記載） 検査法：・自動化法（ 倍相当） ・RPR カードテスト（ 倍） ・凝集法（ 倍） ・ ガラス板法（ 倍） 2. <i>T. pallidum</i> を抗原とする検査 検査法：・TPHA 法 ・FTA-ABS 法 ・その他の検査方法（ ） 検体（ ） 結果（ ）

感染原因・感染経路・感染地域 該当するものすべてに○	感染症のまん延および当該者の医療のために必要な事項として厚生労働大臣が定める事項
①推定される感染原因・感染経路 １）性行為 ア.同性間 イ.異性間 ウ.同性および異性間 エ.不明 ２）静注薬物使用 ３）母子感染（ア.胎内 イ.出産時 ウ.母乳） ４）輸血・血液製剤（輸血・血液製剤の種類・使用年月・状況： ） ５）針等の鋭利なものの刺入による感染（刺入物の種類・状況： ） ６）その他（不明） ②推定される感染地域 １）日本国内 （ 都道府県 ・ 不明） ２）国外 （ ） ３）国内か国外か不明	①最近数年間の主な居住地 １）日本国内 （ 都道府県 ・ 不明） ２）国外 （ ） ３）国内か国外か不明 ②国籍 １）日本 ２）日本以外 （ ） ３）不明